

◆ PCのログイン

ユーザー名: 学籍番号
パスワード: 誕生日(月日で、一桁の場合は0埋め)

◆ サーバーの場所

<http://dxlib.o.o7.jp/>

先生から渡されるファイル・ドキュメントが置いてあったり、作った課題の提出場所。

◆ DxLibの公式サイト

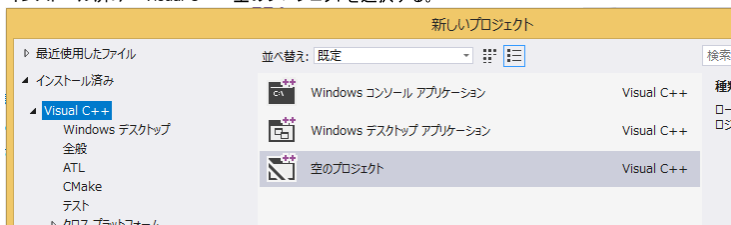
<http://dxlib.o.o7.jp/>

ライブラリーのダウンロードやリファレンスなどがある

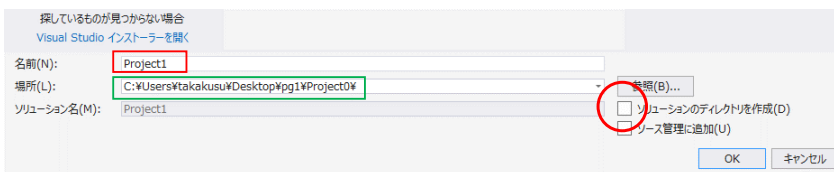
◆ DxLibを使用する際の初期設定

VisualStudio2017で使用する際の流れ。

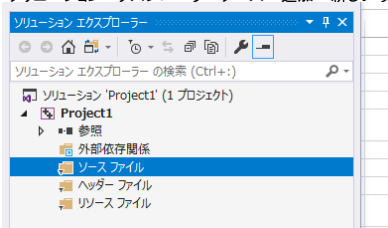
- ① projectの新規作成を選択する。
インストール済み→Visual C++→空のプロジェクトを選択する。



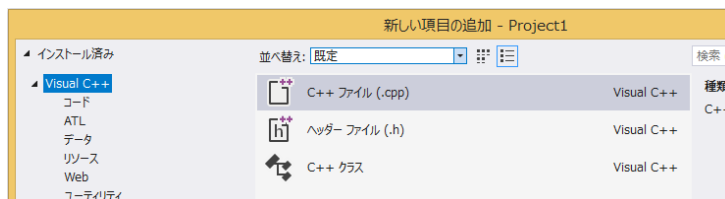
- ② 任意のプロジェクト名と保存場所を決めて入力する。
ソリューションのディレクトリを作成のチェックを外す。



- ③ projectの設定に当たり、ソースファイルが一つは登録されている必要があるので、先に登録を行う。
ソリューションエクスプローラー→ソース→追加→新しい項目



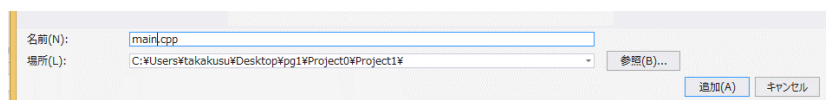
新しい項目→Visual C++→C++ファイル(.cpp)



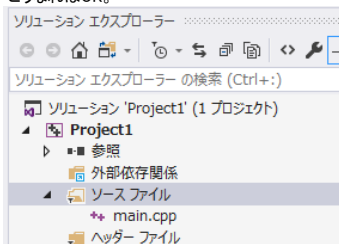
ファイル名は、適切な名前を付けよう。

慣れるまでは、main.cppでOK。

保存場所は基本的にはプロジェクトの保存場所と同じにしておこう。







こうなればOK。



項目	内容	言語
著作権情報の非表示	はい (NOLOGO)	
インポート ライブラリの無視	いいえ	
出力の登録	いいえ	
ユーザーごとのリザイクト	いいえ	
追加のライブラリ ディレクトリ		
ライブラリ依存関係のリンク	はい	

追加のライブラリ ディレクトリ

< >

評価された値:

追加のライブラリ ディレクトリ

C:\VxDxLib

構成(C): アクティブ(Debug) プラットフォーム(P): アクティブ(Win32) 構成マネージャー(O)

▲ 構成プロパティ

- 全般
- デバッグ
- VC++ ティンクトリ
- ▲ C/C++
 - 全般
 - 最適化

追加のインクルード ディレクトリ
追加の #using ディレクトリ
デバッグ情報の形式
共通言語ランタイム サポート
Windows ランタイム拡張機能の使用
著作権情報の非表示
警告レベル

エディット コンパイルのプログラム データベース (/ZI)
はい (/nologo)
レベル 3 (/W3)

以上で設定変更完了だ。
完了したら、OKを押して、プロジェクトの保存も忘れずにしておこう。